

株の達人新聞

2010年2月
2月8日版

「株の達人」では、さまざまなテクニカル指標を使い、先物・オプションから個別銘柄までチャート分析を行っています。テクニカル指標を有効に活用すれば、売買のタイミングもわかりやすく、投資が簡単になると思います。ぜひ、この機会にテクニカル分析による投資を知っていただき、効率的な資産運用を行なっていただきたいと思います。

2月第1週の日経平均株価の動向と今後

2月第2週の主なスケジュール

- 8日(月)
 - 12月国際収支(8時50分)
 - 1月マネーストック(8時50分)
 - 1月景気ウォッチャー調査(14時)
- 9日(火)
 - 1月工作機械受注(15時)
 - 12月卸売在庫(米国)
- 10日(水)
 - 12月機械受注(8時50分)
 - 1月企業物価指数(8時50分)
 - 12月貿易収支(米国)
- 11日(木)
 - 1月小売売上高(米国)
 - 12月企業在庫(米国)
- 12日(金)
 - オプションSQ
 - 1月消費者動向指数(14時)

テクニカル分析

月足チャートは、60ヶ月移動平均線は下向きで、株価は同線を20%以上下回っています。6ヶ月移動平均線は上回っていますが、前月安値更新していませんので、同線が下値支持線となるか確認が必要になると思われます。24ヶ月移動平均線は下向きで上値抵抗線となっており、24ヶ月移動平均線の下に12ヶ月移動平均線があり上向きですから、同線が下値支持線となるか確認が必要と思われる。

日足チャートでは、75日 2000日移動平均線共に上向きで、2000日移動平均線の上に75日移動平均線があります。株価は、75日移動平均線を下回っていますので、同線が上値抵抗線となっており、10日移動平均線が上値



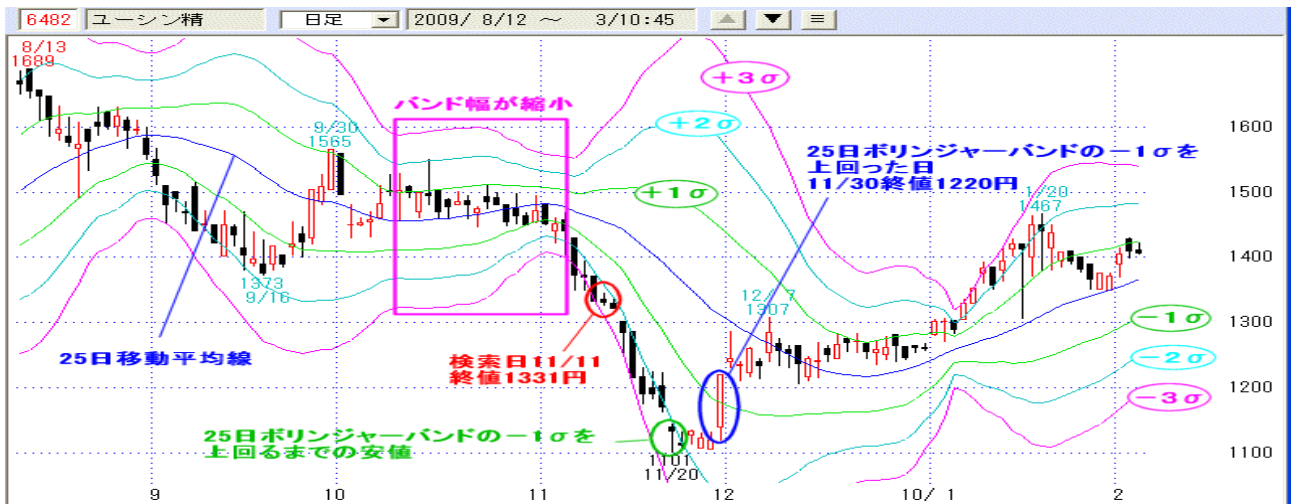
抵抗線となつて間は軟調な動きになると思われれます。

7月13日安値と10月5日安値を結んだ線を割り込んだ後、同線が上値抵抗線となり株価が下落しています。1月21日高値と2月4日高値を結んだ線が上値抵抗線となつて間は下降基調の動きになると思われれます。長期的には、3月10日安値と11月27日安値を結んだ線が下値支持線となるか割り込むか確認が必要と思われれます。

75日線形回帰トレンドは、右肩がりの上昇トレンドで、株価は11%RSRV%Dを下回っています。25日線形回帰トレンドは、下降トレンドで、株価は±1%RSRV%Dの範囲で推移していますので、+1%RSRV%Dを上値抵抗線としている間は下降基調の動きになると思われれます。

9%RSRV%Dは5日時点で32%台で下向き、11%SLOW%Dは27%台で上向きです。両線とも80%以上で推移している動きから、20%以下まで急落して後の上昇となつてきますので、トレンド転換していると思われれます。まずは売られ過ぎでも50%以下で推移し続ける場合は下降トレンドの動きになると思われれます。

NYダウは、3月6日安値と7月8日



安値を結んだ下値支持線を割り込んでいますのでトレンド転換しています。

ボリンジャーバンド

株価の勢いの変化や反転の目安、方向を見る指標です。一定期間のデータの標準偏差(シグマσ)を算出し、移動平均線に対してシグマの2〜3倍を加算したものをバンドの上端、減算したものを下端として表示します。

ボリンジャーバンドは、値動きが激しくなっても、緩やかになっても、移動平均線を中心にした上下のバンドに向けて株価が上下する、または、上下のバンドを大きく突破しないという特徴を利用します。

売買ポイント

逆張り手法

プラスマイナス1〜3σを各々下値支持線や上値抵抗線と考え、株価がマイナス1〜3σにきたときに**買いポイント**、プラス1〜3σにきたときに**売りポイント**とみます。

順張り手法

プラスマイナス2〜3σを超えて推移したときは、これまでのトレンドが転換した可能性があるため、**マイナス2〜3σにきたときは売りポイント**、**プラス2〜3σにきたときは買いポイント**とみます。

過去のボリンジャーバンドの検証

11月12日の株の達人新聞(木曜版)で紹介しましたボリンジャーバンド(6482)を取り上げて検証してみよう。

検索日では、バンド幅は拡大傾向で、株価は-2シグマ(σ)を下回っていますので下落する可能性があるかと判断できると思います。一般的には、株価がボリンジャーバンドの-2σ以下まで下落した場合、**買いタイミング**となります。

しかし、バンド幅が拡大している時、株価はバンドの動きに沿って動き傾向がありますので、同銘柄の場合は**売りタイミング**として**順張り手法**を活用しています。本来の統計的な観点から活用する方法とは異なる手法となっています。

また、検索日以前のバンド幅は縮小した状態でしたので、株価はもみ合いの動きと判断できます。その後、株価が25日移動平均線を下回って推移する動きになると、バンド幅が拡大傾向となっています。つまり、株価は**もみ合い放れの状態**で下落しています。

検索日の終値は1331円で、その後下落し続け11月20日に**1101円**の安値をつけ**230円**の下落となっています。

わからないことが出てきたら

「株の達人」では、お客様のサポートも完全無料でご案内しております。チャートの見方や株の達人による銘柄選択方法など、何でもご相談ください。

情報提供サービス

株の達人新聞は毎週第1営業日に日本最大のメルマガ配信サイト「まぐまぐ」にて配信しています。登録は**完全無料**。株の達人の会員の方だけでなく、どなたでもご購入いただけます！

株の達人

株式会社ストック・データバンク
(営業企画部 古賀)

東京都新宿区高田馬場2-14-2 新陽ビル801
TEL: 03-3204-3727 / FAX: 03-3204-3691
メール staff@kabutatu.jp
ホームページ <http://www.sevendata.co.jp/>

株の達人新聞は情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断 責任でなさいますようお願いいたします。